



帯広西ロータリークラブ

第2266回例会

2019.3.28

会報



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

会長報告

佐藤 聡 会長

皆さん、こんばんは。

3月の最終例会と云う事ですが、多くの企業は今年度の決算月を迎えるのではないのでしょうか。私の会社も仮決算の予想ではそこそこの業績を上げることが出来たようですし、新年度に向けての売り上げ目標も今年度を上回ることが出来るのではないかと考えております。

そんな中で建設業界における唯一の懸念材料は人材不足と人手不足です。どんなに仕事があっても、管理する人間そして現場で働く人間が居なくては工事を請けることが出来ません。昔、「20代で家を持ちたかったら…大工になればよい」と言われた時代がありました。しかし、今の若者の価値観が変わってしまったのか、家にも車にも興味が無い。現在では、大工職人の平均年齢は60歳になろうかという超高齢化が進んでいるのが現状です。他の業界でも、人材不足の話題を耳にすることが多くなって参りましたが、どのような手法があるのか暗中模索の状態なのが現状です。

4月から多くの若者が新社会人となりますが、彼らは一体どんな人生を考え何処に行ってしまうのでしょうか?仕事と作業の違いを理解しているのでしょうか?新聞や雑誌に幾多の投稿を寄せている鈴木元会長に2時間くらい時間を取り卓話して頂きたいと思っているのは決して私一人のわがままではないと思います。是非とも、若林年度で実現して頂ければ幸いです。

と云う事で今日は新社会人へのエールを込めて「人生の分かれ目」という言葉を紹介させていただきます。

『言われたこと以外に 自分で何をするか
それを苦痛と感じるかどうか
一流になるか ならないかの分かれ目
あなたが人の言う事だけしかやらなければ
あなたは決して、その人を超え
一流になることは出来ない』
以上、会長挨拶とさせていただきます。



会務報告

小谷典之 幹事

- ①帯広北RC、3月29日(金)の例会は、休会と致します。
帯広南RC、4月1日(月)の例会は、休会と致します。
- ②帯広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内
日時 4月22日(月)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ③帯広北RC・帯広東RC・音更RC合同夜間例会開催のご案内
日時 4月23日(火)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広北RCは、4月26日(金)の繰上げ例会と致します。
- ④帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内(新会員歓迎会)
日時 4月25日(木)午後6時30分
場所 夢人
- ⑤帯広南RC、4月29日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。
・帯広東RC、4月30日(火)の例会は、休会と致します。
・帯広RC、5月1日(水)の例会は、休会と致します。
・帯広西RC、5月2日(木)の例会は、休会と致します。
・帯広北RC、5月3日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。
・帯広南RC、5月6日(月)の例会は、祝日振替のため休会と致します。



委員会報告

小野辰夫 青少年奉仕委員長

- 第9回チャリティーフリーマーケット開催
日時 5月12日(日)10:00から
場所 イトーヨーカドー入口



出品のお願い

- ・食器・調理器具・キャンプ用品・衣類・ぬいぐるみ・自転車・電化製品・本
- ・贈答品・骨董品等

*テレビなど大型のものは受け入れ不可



会長 佐藤 聡 副会長 内海 仁司 会場監督理事 田中 耕吾 発行：広報委員会
幹事 小谷 典之 副会長 渡部 省一 プログラム委員会理事 谷脇 正人 委員長 菊池 俊博 (副)松田 貴史



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

ニコニコ献金

伊藤公康 親睦活動委員

小谷 典之 幹事

沖縄遠征初日、2日目ハンディに恵まれ優勝させて頂きました。ありがとうございました。



古田 敦則 ロータリー情報委員長

本日担当例会です。宜しくお願いします。

天野 清一 委員長

沖縄ゴルフ大会三日目18のハンディついて優勝しました。今年はこの調子で1年間上位を目指します。馬券も当たり、イェー!!

小野 辰夫 委員長

青少年奉仕例会、ありがとうございました。

金尾 剛 会員

西クラブのゴルフ大好きの皆さんおまたせしました。3月30日(土)より正式オープンします。今年も宜しくお願いします。今年のレストラン天井が美味しいですよ!

佐々木和彦 会員

誕生祝いありがとうございました。62歳になりました。

森 房明 会員

1人娘が畜大を卒業して明治に就職が決まり、今月末に長野に赴任します。この間、幸か不幸か痛風の激痛に悩まされ、感傷に浸るまありませんでした(泣)。

萱場 誠一 会員

沖縄遠征で真ん中賞×2いただきました。

北川 勝啓 会員

この春、息子が第一志望の高校に合格いたしました。3年間楽しい高校生活を、送って欲しいと思います。

平田 宗利 会員

息子が無事志望高校合格しました。一安心です。

伊藤 公康 会員

先日ゴルフの沖縄遠征では、皆様のご協力を、いただき無事幹事の職を、全うすることができました。不手際等々ありましたがお世話になりました。

ニコニコ
献金

3月28日

22,000 円

累計

404,000 円 (3月28日現在)

プログラム

「クラブフォーラム、どうする対外奉仕」

古田敦則 ロータリー情報委員長

ロータリーは所謂五大奉仕と呼ばれており、そのうちクラブ奉仕を除いた職業・社会・青少年及び国際奉仕を一般的に対外奉仕と呼びます。それぞれの定義はロータリー定款第5条に定義されています。

今回このテーマを取り上げたのは、本年度佐藤会長がクラブテーマとして「常識を疑い新たな事にチャレンジしよう」という命題をかかげていらっしゃる事を鑑み、対外奉仕に関わる問題点や課題を整理し今後クラブとしてどのような方向性と具体的な活動を目指して行っていくのか、会員全員で討議し、今後のクラブ活動の礎としたいと考えたからです。事前に家庭集会で議論した内容を各班から発表していただき、最後に佐藤会長にまとめをいただきたいと思ひます。

その前に、私から、日本のロータリーに共通する対外奉仕の問題点について整理したいと思います。最初の問題点は、活動の固定化マンネリ化です。単純な前年踏襲や活動の検証不足が対外奉仕活動の形骸化を生んでおり、同時にクラブとしての長期的視野にも欠ける面があるように思ひます。次に予算の少なさです。予算の多い少ないが活動の価値を決めるわけではありませんが、各種分担金や例会運営費に多くの費用がかかり、予算に占める対外奉仕の割合が非常に小さくなっています。予算配分の見直しや地区補助金などの活用で、より弾力的・戦略的予算配分が必要かと思ひます。最後に内向きの活動への偏重です。内向きの活動とは、当該奉仕活動について会員が学び、クラブとしてのコンセンサスを確立するための、いわば実践のための手段です。一方外に向かう活動は、文字通りクラブが培った奉仕の理念の実践です。内的活動が必ずしも外的活動に直結しておらず、実践を見据えない活動のための活動になっている点に問題があるように思ひます。



第1班

発表者 森 房明 会員



■議論概要

- ・「職業」と「奉仕」一見すると相反する言葉で、定義付けが、難しい。
- ・当クラブで実践している名入れ入歯を、例にとるとRCが取り組んでいる職業奉仕を、理解できる。
- ・以前取り組んでいた「職業奉仕賞」を、再度復活させたらどうか?
- ・奉仕は、一方性の性格が強い職業奉仕は、双方向である。

■現状の活動の問題点・課題

- ・「職業奉仕賞」は評価が難しい。
- ・年間予算1,800万のうち職業奉仕の予算は70万の現実。
- ・職業奉仕を、無くそうというRI方針と、日本のRCが、職業奉仕に対する理想の強さの意識のずれ。
- ・職場訪問に拘ることなく、講師として呼び出す手法もある。

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・職業奉仕賞を改善し復活させる事で、メンバーが身近に感じ職業奉仕実践に繋がる。
- ・有意義な取り組みをしている方を、発掘、表彰。その方を、各学校で卓話ができる環境作り。
- ・職場訪問について、従来のやり方以外の方法を検討する。
- ・年間の担当例会において、それぞれが連動するような例会構成、継続性を考える上で前年度からの検証・引継ぎをする。
- ・「立場が人を変える」今年の会長方針「常識を疑い可能性に挑戦する」両者に共通する創意工夫を念頭に活動していきましょう。

第2班

発表者 河西智子 会員



■議論概要

- ・最近の職業奉仕例会内容について、マンネリ化している事の良否を判断し、様々な職業の話題をした中で、今後の例会のあり方について議論。

■現状の活動の問題点・課題

- ・メンバーの職業紹介、施設訪問などの移動例会、一見マンネリ化の様であるが、異業種の取り組み等の話を聞いたり、見たりする事でメンバーの資質向上、経営の勉強になるため特に問題はないとの意見。

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・メンバーの職業を、体験する例会案に対し、例会時間が長くなり出席率低下につながる等検討する必要があった。
- ・十勝ならではの、農業や畜産等の、職業奉仕例会は、経営のヒントになる。
- ・RCはメンバー自身が、色々な職業について学び、地域で雇用をして、持続的な経営をすることが職業奉仕である。

第3班

発表者 松田貴史 会員



■議論概要

- ・社会奉仕について。

■現状の活動の問題点・課題

- ・ロータリークラブとは、何をどの様に活動しているのか、不透明な団体と思われている。そのところを市民の方に、理解されなければならないと思われる。
- ・地域の方から「ありがとう」と、言われる様な活動を取り組んでいかなければならない。
- ・社会奉仕の趣旨が、良い方向に変わってきたように思われる。
- ・過去に行ってきた植樹は、今後も本当に続けてよいのか？後に費用が掛かっているのではないか？

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・ロータリアンは、一人一人が、まず自分の周りから何をした方が良いのかを考え行動を始めるのが、良いのではないか？それがロータリーの精神に、繋がっていくのではないだろうか。
- ・個々が何をしてきたのかを、例会で発表するような取り組みがあっても良いのではないか？

第4班

発表者 立崎貴之 会員



■議論概要

- ・主人役、増井さんよりこれまでの、西ロータリークラブ社会奉仕の、実績及び過去の社会奉仕について説明（別紙参照）。
- ・フットサル。

■現状の活動の問題点・課題

- ・単年度制ゆえに、事業の継続性の大事さを、再認識する必要がある。
- ・人事の持ちあがりとして、幹事から幹事への申し送りをする。
- ・ロータリーって何の活動を、やっているのかが一般の人には、わかっていないので、目に見える活動をしていくことが大事、その結果会員増強に繋がる。
- ・ロータリーは、地域のニーズに答える事に力を、入れる事が必要である。
- ・ロータリーがやる社会奉仕と一般の人がやる社会奉仕の違いを、しっかり認識しロータリーでしかできない社会奉仕をやる。

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・予算が必要なものと必要でないもの
 - 予算が必要なもの
 - * 移植医療
 - * フットサル（スポーツによる地域活性化）
 - 予算が必要でないもの
 - * 清掃活動（クリーンキャンパス21・市内15エリアで活動）
 - * 献血
- * 地域（帯広、十勝）で本当に必要とされることを模索して社会奉仕につなげていく事が大事

第5班

発表者 藤本 剛 会員



■議論概要

- ・ローターアクトのサポート。
- ・次代を担う子供達の支援。
- ・対外奉仕全体の予算額の割り振り。

■現状の活動の問題点・課題

- ・ローターアクトのサポートで、青少年委員会中心で活動しているが、今後は西ロータリークラブの全員全体でサポートを、出来る取り組みを考えていく。

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・青少年奉仕活動を単年度で行う他、継続して行える奉仕活動を考える。

- ・帯広市内中心部の歴史を、市内小学校で講演する。
- ・リサイクルを通して、青少年の今後の活動の為になるようにする。
(卓球のラバーを一線で活躍している選手から譲り受け支援する)

第6班

発表者 工藤正宏 会員



■議論概要

- ・青少年奉仕活動の的確な対象年齢とは→中学生以下。
- ・今の子供って明らかに我々の時代とは異なる→スマホ・インターネット・YOUTUBE。
- ・教育のせい？親のせい？→親が干渉しすぎ子どもが自立しづらい。
- ・青少年奉仕の前に親の教育。

■現状の活動の問題点・課題

- ・他のクラブの青少年奉仕事例紹介（アウト支援以外の青少年奉仕活動）
- ・そもそもアウトとは何ぞや？

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・アウト支援以外の青少年奉仕活動も必要と考えるが、継続性の観点から単年度制が障害になる。
- ・クラブとして中長期による活動計画が必要。

第7班

発表者 松見喜明 会員



■議論概要

- ・ロータリー情報委員会の資料をもとに現在までの「国際奉仕」事業確認。
- ・その事業の経緯と現在の確認。
- ・今後西RCの、国際奉仕事業のあるべき姿のディスカッション。

■現状の活動の問題点・課題

- ・ロータリークラブの組織自体が、単年度制であり事業の継続性の有無に、疑問が残る。
- ・事業費等の関係で、事業の内容が制限される。

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・「足長おじさん基金」的な、本当に恵まれない人達の募金を遂行してはどうか。
- ・「足長おじさん基金」のシステム勉強会（企業からの基金等）
- ・現在ベトナム、フィリピン等から管内200人程度、来帯しているのであくまでもJICA。畜大生などにサポートを、あてるだけではなく、別のチャンネルで事業展開してみてもどうか。年一回程度の交流。
- ・アフリカ等の後進地域へ行き井戸を掘って水を出す事業の支援。
- ・西RCのオリジナリティーを出すために国際奉仕で金看板的な継続事業を、創造してみてもどうか。

第8班

発表者 菊池俊博 会員



■議論概要

- ・資料を基に、西クラブ、近隣ロータリー、全国ロータリーの国際奉仕活動確認。
- ・本日の流れ説明、現状の国際奉仕活動の課題や問題点の抽出→今後の活動について。
- ・なるべく早く完了して、懇親の時間を増やすことの確認。

■現状の活動の問題点・課題

- ・過去やその他事例を見ても、突出した事業展開をしている訳ではない。
- ・寄付、近隣の外国人との交流が、2つのメイン活動となっている。
- ・ロータリーの寄付は独自で実施する以外、比較的すでに裕福な人にいきわたる傾向がある。
- ・モンゴルの活動の次のメイン事業を実施するのは、なかなか良いものが浮かばない。
- ・家庭集会としては、少し難しすぎる課題ではないか？

■今後取り組むべき活方向性及び具体的活動案

- ・独自で実施するには、本当に困っているところへ実施（寄付などの行動も含め）する仕組みがあっても良いのではないか？
- ・帯広は他地域とは違い、JICAや畜大など外国の居住者が多いので、その独自の交流を模索しては？
- ・単年度制のロータリーなので、とても複雑な仕組みの事業は難しいのでは、継続性についても考慮する必要があると考える。
- ・（本年度の国際奉仕委員会としては）畜大の留学生から見る、より深い交流を実施するための障害はなにがあるのかについて議論し、提案まで持って行ける例会を考える、と説明。

<クラブフォーラムのまとめ>

佐藤 聡 会長

全体として、今までの事業を目的と手段という観点からしっかりと検証し、単年度制という制約の中で持続可能な継続事業と単年度事業の明確にし西RCらしさを追求していくことが重要だと確認されました。

本日の例会における家庭集会での意見が次年度以降に具現化され、西RCが益々光り輝くことを祈念しまとめと致します。